

【資料】 コミュニティエリア施策展開の影響

資料 コミュニティエリアと市計画との関係(再掲)

計画名	概要	計画内容とコミュニティエリアとの関わり
<p>柏市第五次総合計画 (前期基本計画)</p>	<p>市政における最 上位の計画</p>	<p>コミュニティエリアをベースとし、「北部」「中央」「南部」「東部」の4ゾーンに分けて、地域特性を活かしたまちづくりをめざすとしている</p>
<p>柏市公共施設等総合 管理計画「基本方針 編」</p>	<p>公共施設の現 状と課題、今後 の管理の基本 的な考え</p>	<p>「第5章地域別の現状分析を踏まえた公共施設のあり方の検討」でコミュニティエリアごとに方向性を出している 近隣センターはコミュニティエリアごとに1箇所を維持するとしている</p>
<p>柏市地域防災計画</p>	<p>災害時に実施す べき対策</p>	<p>地区災害対策本部をコミュニティエリアごと(近隣センター)に設置している</p>
<p>第6期柏市高齢者いき いきプラン21</p>	<p>高齢者(介護・ 福祉)施策</p>	<p>コミュニティエリアを「小圏域」とし、「高齢者を支える各種の地域活動を推進する単位」としている 重点施策の取り組み(各論)の一つ、「生活支援サービスの体制づくり」の担い手の一つとして、ふるさと協議会が触れられている</p>

資料 コミュニティアリアに関する市の主な施策(再掲)

分野	施策	取り組み
こども未来	より良い教育のための体制・環境整備	<ul style="list-style-type: none"> ▶地域と学校が一体となった教育の推進 ▶子育て等の地域づくり
健康サポート	健康寿命の延伸 医療介護及び支援体制の充実	<ul style="list-style-type: none"> ▶介護予防の推進 ▶高齢者の社会・地域参加の促進 ▶認知症対策の推進
地域のちから	地域への参加と活動の促進 生涯学習の推進	<ul style="list-style-type: none"> ▶地域コミュニティの活性化 ▶地域や社会の課題に対応した学習支援
安全安心	防災・防犯力の向上	<ul style="list-style-type: none"> ▶地域防災・防犯力の向上 ▶災害に備えた体制強化

資料 コミュニティエリア施策展開の影響

担当課	コミュニティに関わる施策	担当課ヒアリング内容	分割した際のメリット	分割した際のデメリット
防災安全課	災害対策本部	<ul style="list-style-type: none"> ▶コミュニティエリアを防災エリアとして、同エリアの情報収集や調査のほか、地域住民と連携した防災活動を行うことを目的に、近隣センターに地区災害対策本部を設置する。 ▶コミュニティが分割されても、近隣センターが設置されなければ地区災害対策本部は設置されない。 ▶防災施設としては、地区災害対策本部のエリアごとに井戸と防災倉庫を設置しているが、柏の葉付近と田中地域の双方に設置されているため、仮に将来柏の葉に近隣センターが設置され地区災害対策本部が置かれても整備は完了している。 	地区災害対策本部ができれば災害時に地域の状況に応じたよりきめ細かい対応ができる	地区災害対策本部には、防災行政無線（移動系）及び避難所初動グッズの配備が必要。
	防犯協会	<ul style="list-style-type: none"> ▶防犯協会の支部がコミュニティごとに置かれており、エリアを分割した場合、支部の新設が見込まれる。 ▶活動としては、定期パトロール、小中学校パトロール、年末年始パトロール、青色防犯パトロールの実施等。 	—	

資料 コミュニティエリア施策展開の影響

担当課	コミュニティに関わる施策	担当課ヒアリング内容	分割した際のメリット	分割した際のデメリット
消費生活センター	消費生活コーディネーター	<ul style="list-style-type: none"> ▶消費生活コーディネーターはふる協から推薦され市が委嘱しており、現在、田中地域は3名が活動しているが、柏の葉付近の在住者はいない。 ▶消費生活コーディネーターの活動内容は、地域の消費者リーダー・市と地域の橋渡し役として、消費者被害の未然防止を目的に、消費生活センターに寄せられる最新の相談情報等を、ふるさと協議会のイベントや各地域のサロン、事業所等への訪問を通して地域に伝える啓発・PR活動を行っている。 ▶柏の葉にコミュニティエリアが設定された場合、現在田中地域で3名のコーディネーターが、田中地域と柏の葉地域の各2名になることが想定される。 	<p>地域的にバランスよく配置され、きめ細かい活動展開が見込まれる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ▶現状でも苦勞しているコーディネーターの担い手がいるか疑問。 ▶活動場所の確保が求められる。
地域保健課	健康づくり推進員	<ul style="list-style-type: none"> ▶町会からの推薦により市が委嘱し、市民が安心して健康的な生活が送れるように、地域ぐるみの健康づくりを進めていくことを目的とした活動を行なう。 ▶健康づくり推進員の任期は3年でコミュニティ単位で活動し、田中地域は26名の推進員がおり、月1回の定例会や各種子育て支援や健康づくり活動を行っている。 	<p>現在の田中地域はエリアが広いため、分割することで推進員が地域とより密接な活動につながるが見込まれる。</p>	<p>分割後の定例会実施等における活動の拠点を検討する必要がある。</p>

資料 コミュニティエリア施策展開の影響

担当課	コミュニティに関わる施策	担当課ヒアリング内容	分割した際のメリット	分割した際のデメリット
社会福祉協議会	地区社協	<p>▶市内を22地区に分割し、各地区の地域性に合わせた身近な福祉活動の実施や活動団体の支援を行う住民組織(団体)。その運営から事業の企画、活動まで、全て各地区の住民自身が行う。</p> <p>よって、身近な生活課題を地域課題として捉え、みんなで考え、協力しあいながら解決に結び付ける住民の主体的な活動になる。ふるさと協議会の福祉分野を担う組織として位置づけられている。</p> <p>▶現在、地区社協は田中ふる協内の組織に位置付けられており、地区社協役員10名弱、その他運営委員40名弱とボランティアでふる協の福祉部門を担っている。</p> <p>▶主な活動は敬老事業(75歳以上への記念品配付、独居老人への鉢植え贈呈)、町会サロン運営、子育てサロン運営、ちよいサポ部会(支え合い)運営等。</p> <p>▶地区社協からのお知らせはふる協内の組織であるため、田中ふる協に属していない柏の葉の町会の住民は地区社協からの連絡が届かない状況。</p>	<p>柏の葉周辺のふる協未加入の町会が柏の葉に新設されるふる協に加入した場合、地区社協を通じて社協の福祉施策が住民に満遍なくいきわたる。</p>	<p>活動場所、活動人材の確保が必要</p> <p>田中ふる協の行事に参加できなくなる</p>

資料 コミュニティエリア施策展開の影響

担当課	コミュニティ に関わる施策	担当課ヒアリング内容	分割した際の メリット	分割した際の デメリット
社会福祉協議会	民生・児童委員	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 民生・児童委員と主任児童委員を構成員とした法定の民生委員児童委員協議会があり、田中地区と田中柏の葉地区（柏市若柴町会、新若柴町会、東十余二町会、若柴入谷津町会、柏の葉1～3丁目自治会・町会、柏の葉キャンパス1・2番街町会）の2団体がある。 ▶ 主な活動は高齢者・生活困窮者の支援（高齢者の声かけ訪問、各種情報提供・相談等） 	—	—
高齢者支援課	高齢者支援	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 介護保険エリアは7圏域（中圏域）。少圏域はコミュニティエリアと同様（別紙参照）。現在田中地域の高齢化率は市内17位だが、柏の葉コミュニティエリアが新たに出来ると田中地域の高齢化率は上昇する可能性が高い。 	—	—
社会福祉課	民生・児童委員	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 町会からの推薦により厚生労働大臣から委嘱される制度ボランティア。 ▶ 田中地域は民生委員児童委員協議会とふる協のエリアは一致していない。 	民児協とふる協エリアが一致すれば、民生委員が活動しやすくなるが見込まれる。	— 7

資料 コミュニティエリア施策展開の影響

担当課	コミュニティに関わる施策	担当課ヒアリング内容	分割した際のメリット	分割した際のデメリット
地域包括支援課	<p>地域包括支援センター</p> <p>支えあい推進員</p>	<p>➢市内11箇所に設置し、高齢者が住みなれた地域で安心していきいきと暮らしていけるように、保健・医療・福祉の専門職が、関係各所と連携しながら介護でのお困りごとなどのさまざまな相談と支援を行なう。</p> <p>➢コミュニティエリアごとにセンターの担当地域を決めており、柏の葉キャンパス付近に立地している柏北部地域包括支援センターが北部1圏域(田中及び西原地域)を担当している。</p> <p>➢平成31年度に北部1圏域を分割しセンター増設を予定。</p> <p>➢地域支えあい推進員(社協と協力して行っている)がコミュニティエリアごとに配置をしているので、現田中地域の人員確保や配置替えが必要となる。</p>	<p>課題:</p> <p>65歳以上人口 田中:9,016人西原:5,384人 (H29.10月日常生活圏域データ)</p> <p>田中地域を分割し3つの地域の組み合わせやセンターの設置場所の検討が必要</p>	
企画調整課	—	<p>➢コミュニティエリアを分割することのメリットとデメリットを整理した方が良い。</p>	—	<p>—</p> <p>8</p>